



会報

# 日本太鼓財団

## NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2023年春号

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

公益財団法人日本太鼓財団 理事長 大澤 和彦

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

URL : <https://www.nippon-taiko.or.jp> Email : [info@nippon-taiko.or.jp](mailto:info@nippon-taiko.or.jp)

## 橋太鼓「響座」ジュニア(宮崎)が5回目の栄冠に輝く!! 第25回日本太鼓ジュニアコンクール



(選手宣誓:「和太鼓 風」内野 裕介さん)

3月19日(日)石川県金沢市「金沢歌劇座」にて日本太鼓財団主催、石川県太鼓連盟、日本太鼓財団石川県支部主管により、第25回日本太鼓ジュニアコンクールを約1,400名のお客様を前に盛大に開催いたしました。

優勝を目指して全国37都道府県及び地区大会から選抜された43団体430名(予選実施32支部329団体3,109名参加、支部推薦5団体、支部未開設県1団体)に加え、台湾チーム10名の総勢440名が出場しました(最年少7歳)。

さらに、前年度優勝団体「和太鼓たぎり」(福岡)と2019年度ブラジル大会優勝団体「クリチーバ若葉太鼓」(ブラジル)が特別出演として参加いたしました。

開会式は、優勝旗を手にした「和太鼓たぎり」、ブラジル代表「クリチーバ若葉太鼓」、台湾代表「葫蘆墩(ふるとん)Smile太鼓團」が中央に並び、全団体が整列して行われました。

国歌清聴に続き、日本太鼓財団大澤和彦理事長、金沢市長代理 金沢市文化スポーツ局東利裕局長、石川県支部米田直樹支部長が挨拶しました。そして、「和太鼓たぎり」より優勝旗並びに優勝杯が返還され、優勝杯レプリカと長胴太鼓が贈呈されました。

続いて抽選で出場順1番となった千葉県代表「和太鼓 風」の内野裕介さんが選手宣誓を行いました。そして、長谷川義会長による初切り太鼓が行われ、コンクールが幕を開けました。

出場44団体は、大会要領に基づき長谷川会長作曲による課題曲「旅立ち」と自由曲を5分以内に演奏しました。各団体の演奏が終わる度に、お客様より心からの拍手が送られました。

出場44団体の演奏の後、ブラジル代表「クリチーバ若葉太鼓」、前回優勝した「和太鼓たぎり」が特別演奏を披露しました。

閉会式では、長谷川審査委員、山部泰嗣審査委員からの講評と大澤審査委員長より総評があった後、結果が発表されました。優勝し、栄えある内閣総理大臣賞に輝いたのは「橋太鼓『響座』ジュニア」(宮崎)でした。優勝団体が発表された瞬間、会場の張り詰めた空気が一転し、割れんばかりの拍手が沸き起こりました。

「橋太鼓『響座』ジュニア」は、10歳から18歳までの13名で構成された団体で、岩切響一代表の下、練習を積み重ね、第23回優勝に続き、5度目の優勝に輝きました。また、「糸島二丈絆太鼓」(福岡)が第2位となり、総務大臣賞を受賞しました。芸術性が高く将来有望な団体に贈られる文部科学大臣賞は第3位に選ばれた「三代目源流」(大分)が受賞されました。台湾の「葫蘆墩Smile太鼓團」は浅野太鼓楽器店賞を受賞されました。出場全団体がこれまでの練習の成果を余すところなく発揮し、共に競い合った一日でした。今回の大会を通じて多くのことを学び、今後の活動に活かしていくことを期待しております。

また今回もインターネットによる全世界生中継を行い、ブラジルをはじめ海外の皆さまにもジュニアコンクールをご視聴いただきました。

最後に、審査委員、技術委員の先生方、ご家族並びにご来場の皆さま、そして参加者のために行き届いた心配りをして下さった石川県太鼓連盟、石川県支部他、駆けつけて下さった多数のボランティアスタッフの皆さまに心より感謝申し上げます。



(優勝した橋太鼓「響座」ジュニア)

## 受賞一覧

- 優勝・内閣総理大臣賞
  - 準優勝・総務大臣賞
  - 第3位
  - 文部科学大臣賞 (芸術性が高く将来有望なチームに贈られる)
  - 第4位・石川県知事賞
  - 第5位・金沢市長賞
  - 特別賞
    - 石川県太鼓連盟賞
    - 北國新聞社賞
    - 浅野太鼓楽器店賞
    - 石川県芸術文化協会賞
    - 北陸三県太鼓協会賞
    - 北陸放送賞
    - テレビ金沢賞
    - 石川県観光物産館賞
    - 金沢文化スポーツコミッション賞
    - 宮本卯之助商店賞
    - 諏訪響太鼓店賞
    - 丸五賞
    - 篠笛立平賞
    - ブラジル太鼓協会賞
    - 台湾太鼓協会賞
    - 国際友好賞
    - 国際友好賞
- 橘太鼓「響座」ジュニア (宮崎)
  - 糸島二丈絆太鼓 (福岡)
  - 三代目源流 (大分)
  - 三代目源流 (大分)
  - 舞鶴一座 秋月鼓童 (宮崎)
  - やまばと太鼓 (秋田)
  - 信濃国松川響岳太鼓子供会 (長野)
  - 輪島・和太鼓 虎之介 (石川)
  - 葫蘆墩Smile 太鼓團 (台湾)
  - 和太鼓サスケ (石川)
  - 諫早天満太鼓 (長崎)
  - 富岳太鼓 風神組 (静岡)
  - 大和太鼓保存会 鼓天童子 (佐賀)
  - ふじた傳三郎太鼓 童 (岡山)
  - 託東太鼓 (熊本)
  - 上州あずま太鼓会 (群馬)
  - 火の神乙女太鼓 爽 (鹿児島)
  - 源多良太鼓保存会「心 (shin)」 (富山)
  - 新潟万代太鼓 鼓助 (新潟)
  - 信濃国松川響岳太鼓子供会 (長野)
  - 大和太鼓保存会 鼓天童子 (佐賀)
  - クリチーバ若葉太鼓 (ブラジル)
  - 葫蘆墩Smile 太鼓團 (台湾)

\*優勝した「橘太鼓『響座』ジュニア」(宮崎)から感想文をいただきましたので掲載いたします。

### 「改めて感じたジュニアコンクール」

代表 岩切 響一

今年のジュニアコンクールは、3年ぶりの通常開催。

子ども達が他チームと挨拶を交わしている姿、会話をしている姿を3年ぶりに見る事が出来ました。一年間必死に稽古した曲を演奏する事に緊張しながらも、他県の太鼓友達との再会に喜んでいる子ども達の姿は素敵な光景でした。それは、子ども達だけでなく指導者も一緒だったのではないかと思います。子ども達がコンクールに出場してくれる事によって指導者同士も久しぶりの再会に喜びがありました。

動画審査や無観客開催と違い、満席の会場と客席で見ている他チームの方々の前での演奏は、コロナ禍でもやれる事・やってきた事を、ようやく皆さんの前で演奏できる喜びと緊張感を子ども達なりに感じながらの演奏だったのではないかと思います。

技術・結果だけではないジュニアコンクールの大切な部分を指導者も子ども達も改めて感じる事の出来たコンクールでした。

まだまだ、大変な状況の中ご準備して頂きました日本太鼓財団の皆さま、石川県太鼓連盟の皆さま、石川県支部の皆さま、他関係各所の皆さま、本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。



(優勝時の演奏)

## 審査委員

(敬称略)

大澤 和彦 (財団理事長) \* 審査委員長  
 大藏 基誠 (能楽師狂言方大藏流)  
 岡田 知之 (洗足学園音楽大学名誉教授)  
 高野 右吉 (財団副会長)

長谷川 義 (財団会長)  
 古屋 邦夫 (財団技術委員会委員長)  
 山田 正俊 (日本マーチングバンド協会北陸支部支部長)  
 山部 泰嗣 (太鼓奏者)

### リーダー 後藤 瞭来 (18歳)

僕は3歳から太鼓を始めました。大会には小学校3年生から高校3年生までの10年間出場しました。

僕は、今回優勝したチームのリーダーをさせてもらいました。今回のチームはこれまでのチームとは違って、小学校4年生から高校3年生というとても年齢幅の広いチームでした。

僕は、年齢幅が広いとチーム内で意見が言えなかったり、上級生を気にしながら練習してしまうのではないかと心配していました。その為に、自分の中で心掛けた事がありました。

それは、練習の時、褒めることと・叱ることの違い分けと、練習以外では皆とコミュニケーションをとることを常に心掛けてきました。自分から行動に移さないと何も変わらないのでメンバーに嫌われる覚悟でメンバーと接してきました。キツイことを言うこともあったと思いますが、メンバーは最後までついてきてくれました。本当に感謝しています。

最後に、これまでの大会に出場したことで沢山のことを学ぶことができました。太鼓の技術だけではなく、チームで動くことの大切さや礼儀作法も学ぶことができました。今回、優勝できたのは周りで支えて下さった方々や応援していただいた皆さんのおかげだと思っています。この感謝の気持ちを忘れずに今後とも精進していきたいと思います。そして、今大会にご尽力頂きました日本太鼓財団・石川県太鼓連盟・石川県支部の皆さまへ感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 大村 朋希 (15歳)

僕は現在高校1年で、慣れない高校生活に不安なこともあり、また一度優勝を経験しているチームならではのプレッシャーもありました。

第23回大会は動画審査という新しい形での開催となり、その中でも優勝できましたが、あまり「優勝した」という実感がありませんでした。

ただ、今回の大会は例年通りの開催で観客の前で演奏ができ、今までにない最高の演奏ができたと思います。ご指導いただいた先生方や先輩・毎晩送迎してくれた母親に感謝いたします。今後も全国大会覇者の誇りを持って更に精進したいと思います。本当にありがとうございました。

第26回日本太鼓ジュニアコンクールは  
2024年3月24日(日) 埼玉県さいたま市  
「大宮ソニックシティ 大ホール」で開催!

### 杉尾 蒼也 (15歳)

僕は太鼓を習い始めて10年になります。ジュニアコンクールに出場している先輩たちのことを知りチーム練習に参加しました。第23回大会(動画審査)に続き今回2回目の全国大会に出場することができました。コロナ禍で大会が延期になったり中止になったりしましたが、目標に向かって練習をしてきました。ただ、12月に開催された九州大会前はメンバーがコロナ感染したりして思うような練習ができずに結果が振るいませんでした。

九州大会の悔しさをバネに全国大会では絶対に優勝したいという気持ちで更に練習に励みました。今回のチームメンバーには高校3年生が4人いて、ジュニアコンクール出場は最後となります。その4人の中に僕の姉もいます。なので4人の先輩のためにも絶対に優勝したいという気持ちが強く毎日の練習を頑張りました。何度も注意されて悔しい思いもしましたが大会が近づくにつれて注意点も克服でき大会を迎えることができました。

大会前夜の練習・大会当日の朝練も何とか上手いき、本番は今まで以上の演奏ができたように思います。そして、ドキドキした表彰式でしたが優勝できて良かったです。これまで指導していただいた先生方・先輩方、仕事が忙しいのに毎日送迎してくれた両親に感謝しています。本当にありがとうございました。

### 二見 莉旺 (10歳)

僕は今回で2度目の全国大会を経験しました。前回大会はコロナ禍で動画審査の大会でした。そして今回は第25回日本太鼓ジュニアコンクールです。動画審査での大会も緊張したけど、この石川大会はもっと緊張しました。なぜなら、僕は初めて観客のいる全国大会の舞台に立ったからです。

たくさんのお客さんの前に立ったら、足がガクガク震えて上手く息ができないくらいでした。でも、先生やチームの先輩たちが「リラックスしろ、お前ならできる」と言って、グータッチしてくれたので「絶対上手くできる」と思って演奏しました。僕はこのチームの中で一番年下です。先輩たちのように上手くできずにいっぱい迷惑をかけました。でも、先輩たちはいつも優しく教えてくれました。僕は日本一になりたいから今年同じチームに入ったお姉ちゃんともたくさん練習しました。そして、お姉ちゃんと同じチームで優勝できたことが一番嬉しかったです。お母さんと「九州大会の悔し涙じゃなくて、嬉し涙を流そう」と約束したので約束を守れて良かったです。先生や先輩たちに感謝しています。

お母さん・おばあちゃん、僕はまだまだいっぱい練習して、また日本一になるのでこれからも応援よろしくお願いします。

## 海外太鼓交流～ブラジル・台湾招請～

ブラジルからは2019年7月に行われた「第16回ブラジル太鼓選手権大会」のジュニア部門(12団体127名参加)で優勝を果たした「クリチーバ若葉太鼓」が、ブラジル大会に出場した際のメンバーで来日しました(12名、引率6名の総勢18名)。台湾からは昨年12月に行われた「第13回台湾太鼓ジュニアコンクール」(12団体128名参加)で優勝を果たした「葫蘆墩(ふるとん)Smile太鼓團」が来日しました(10名、引率6名の総勢16名)。

コンクールに先立ち3月17日(金)、ブラジル・台湾チームは金沢の兼六園を見学し、紅白に咲き誇る梅林など日本の風景を楽しみました。さらに金箔貼りを体験し、日本の伝統工芸を学びました。その後、ジュニアコンクールの会場で成功祈願祭に参加し、神聖な雰囲気緊張した面持ちで皆所作を真似ていました。18日(土)にはリハーサルの後、前回優勝団体である「和太鼓たぎり」も加わった交流会を行いました。子供たちは互いに用意したお土産の交換を行うなど交流を深め、楽しい会となりました。

大会では、ブラジルチームは「もちつき」という曲を演奏し、日本の伝統行事の楽しい雰囲気を表現しました。台湾チームは「台中傳説」を披露し、日頃の練習の成果を見事に発揮した演奏で、観客から大きな拍手を受けていました。

緊張で張り詰めた結果発表では、台湾チームが浅野太鼓楽器店賞を受賞しました。ブラジルチームも特別出演で素晴らしい演奏を披露し、海外における太鼓の技術向上が感じられました。

メンバーたちは「日本のジュニアチームのレベルの高い演奏や礼儀正しさ、またスムーズな舞台進行を実際に見て驚き、感動した」、「自分達も益々がんばっていききたい」と話していました。



(金箔貼り体験の様子)

台湾チームは、コンクール翌日3月20日(月)、浅野太鼓楽器店を訪問し、太鼓を製作している工房の見学をしました。普段見ることができない光景に興味津々の様子でした。同日午後、名古屋港水族館を見学しました。国内最大級を誇る水槽で泳ぐシャチやイルカなどを楽しみ、翌日帰国の途に就きました。

ブラジルチームは、20日(月)に浅野太鼓楽器店を訪問し特別講習会を受講しました。21日(火)、山梨県の河口湖に到着し、日本の象徴ともいえる富士山を間近に見て感動していました。午後には浅草へ移動し、宮本卯之助商店を訪問しました。世界の太鼓が展示されている「太鼓館」では普段見ることができない世界各国の様々な太鼓を実際に演奏することができ、満足そうな様子でした。

22日(水)、日本財団を表敬訪問し、尾形武寿理事長を前にジュニアコンクールで演奏した曲を披露しました。尾形理事長からは、歓迎と励ましの言葉があり、記念撮影ののち、ブラジル訪問の際には再会をと約束されました。

「コロナ禍でなかなか訪日が叶わなかったが、太鼓演奏はもちろんのこと、あこがれの日本で素晴らしい体験をし、一生忘れない良い思い出となった。皆さまに感謝したい。学んだことを次につなげて、これからもがんばって太鼓を続けていきたい。」と元気に日本を後にしました。



(海外チームと和太鼓たぎりの交流会での様子)



(日本財団尾形理事長と記念写真)

## 第69回日本太鼓全国講習会・第8期公認指導員更新研修会（長崎） 2月11・12日（土日）大村市「シーハットおおむら」

全九州太鼓連合、長崎県支部主管の全国講習会を実施いたしました。地元長崎県をはじめ、9都県及び台湾とブラジルからの参加を含む124名と、更新研修会に51名が参加しました。開会式では、当財団大澤和彦理事長、全九州太鼓連合長谷川義名誉最高顧問、長崎県支部田中俊亮支部長からそれぞれ励ましと歓迎の挨拶がありました。2日間の講習会では、受講生たちは皆熱心に講習を受けていました。

総合指導 古屋 邦夫

### ○基本講座

3級基本講座 高島 奈々  
4級基本講座 野方 嘉孝  
5級基本講座 松枝 明美  
専門講座講話 長谷川 義

### ○専門講座

単式複打法講座 菊池 修  
複式単打法講座 河合 朋宣  
複式複打法講座 長谷川 義



(5級基本講座)

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

- 1級検定 15名受検 15名合格 (5名認定)
- 2級検定 16名受検 16名合格 (6名認定)
- 3級検定 15名受検 15名合格・認定
- 4級検定 3名受検 3名合格・認定
- 5級検定 52名受検 52名合格・認定

◇第8期公認指導員更新研修会

講師 長谷川 義（当財団会長）  
大澤 和彦（当財団理事長）  
古屋 邦夫（当財団技術委員長）  
宮本 芳彦（(株)宮本卯之助商店代表取締役社長）

51名が公認指導員更新手続きを完了しました。



(更新研修会の様子)

## 特別講習会を浅野太鼓楽器店で実施

第25回日本太鼓ジュニアコンクールの翌日、3月20日（月）石川県白山市「浅野太鼓楽器店」の新設スタジオにて特別講習会を実施いたしました。この講習会はジュニアコンクール出場団体を対象としており、今回はクリチーバ若葉太鼓（ブラジル）、金光藤蔭高等学校和太鼓部「鼓響」（大阪）の2チームが参加し、ジュニアコンクール課題曲、自由曲を中心に指導を受けました。ブラジルチーム講師長谷川義先生からは、即興で作曲した曲を講師含め全員で演奏し、改善点などを丁寧に指導されました。国内チーム講師古屋邦夫先生からは、鼓面の使い方や全体のアンサンブルを意識した音の構成など、太鼓の良さを伝えるためのポイントを細かく指導されました。受講生は今後の練習や次回大会に積極的に活かしていきたいと話していました。

○ブラジルチーム講師の長谷川先生



(クリチーバ若葉太鼓・ブラジル)

○国内チーム講師の古屋先生



(金光藤蔭高等学校和太鼓部「鼓響」・大阪)

## 成田太鼓祭に参加 ～全国太鼓情報発信基地に多くのお客様～

4月15・16日(土日)千葉県成田市の成田山新勝寺・表参道において「成田太鼓祭」が開催され、大勢の人で賑わいました。土曜日はあいにくの雨天となり、規模を縮小して実施しましたが、日曜日には天候にも恵まれ、10箇所の会場にて各団体が特色ある演奏を存分に披露されました。千葉県支部、千葉県太鼓連盟、当財団の協力で設置した「全国太鼓情報発信基地」では訪れたお客様に5月27日に開催する「日本太鼓ジャンボリー2023」のご案内を行いました。また、浅野太鼓楽器店のご協力を得て設置した大太鼓の試し打ちコーナーでは、お子様や外国人等多くの方々に大太鼓の迫力を楽しんでいただきました。



(全国太鼓情報発信基地の様子)



(大太鼓の試し打ちコーナー)

## 各種会議

### <運営委員会・技術委員会>

第74回運営委員会・第78回技術委員会を1月20日(金)東京にて開催し、次の事項が審議、承認されました。

1. 第25回日本太鼓ジュニアコンクールについて  
課題曲、出場団体に関して審議すると共に抽選により出場順番を決定した。また、長谷川義会長が山部泰嗣技術委員を審査委員として推薦され、異議なく承認された。
2. 「2022年度事業の実施状況について」
  - ①太鼓エイド事業
  - ②第7回大学太鼓フェスティバル
  - ③第24回日本太鼓全国障害者大会
  - ④第6回浅草太鼓祭
  - ⑤第19回日本太鼓シニアコンクール
  - ⑥太鼓演奏会の開催事業
  - ⑦日本太鼓ジャンボリー 2022
  - ⑧第37回国民文化祭、第22回全国障害者芸術・文化祭「太鼓の祭典」
  - ⑨日本太鼓技術普及事業(全国・支部講習会)
  - ⑩日本太鼓貸与事業
  - ⑪広報協力、後援、調査研究事業
  - ⑫日系社会研修事業
  - ⑬国際交流事業
  - ⑭組織運営
3. 「2023年度事業計画(案)について」
  - ①2023年度事業計画(案)について  
2023年度太鼓エイド事業は計38事業申請があり、運営委員による審査が行われた。審議

の結果、7事業が不採択となり31事業が採択された。

4. 一般会員の入会について
5. 日本太鼓助成金交付規程の改定について
6. その他

花折一彦運営委員、上原徳夫運営委員、山部泰嗣技術委員、渡辺洋一技術委員の退任報告があった。

### <理事会>

理事会を3月3日(金)東京にて開催し、次の事項が審議、承認されました。

1. 2023年度事業計画及び収支予算について
2. 評議員会の開催について  
報告事項 職務執行状況について

### <技術委員会>

第79回技術委員会を3月19日(日)石川にて開催し、次の事項が審議、承認されました。

1. 第25回日本太鼓ジュニアコンクールについて

### <2025大阪・関西万博1,000人太鼓実行委員会>

日本国際博覧会が2025年に大阪・夢洲にて開催されます。この大阪・関西万博において太鼓財団各支部からの参加で1,000人太鼓を行うため、3月3日(金)に2府5県の代表者からなる実行委員会のキックオフミーティングが大阪にて開催されました。なお事業内容につきましては、本会報や財団公式サイトにて順次お知らせしてまいります。

## 2023年度太鼓エイド事業 決定

運営委員会を経て、理事会で次の31事業が承認されました。報告書受理後、助成金が交付されます。

### 支部講習会4事業(海外含む)

- 6月17・18日(土日)  
第94回日本太鼓支部講習会(北海道室蘭市)
- 7月8・9日(土日)  
台湾太鼓講習会(台湾桃園県)
- 9月9・10日(土日)  
ブラジル太鼓講習会(ブラジルサンパウロ州)
- 9月23日・24日(土日)  
第95回日本太鼓支部講習会(北海道岩見沢市)
- ### 教職員研修会3事業
- 6月11日(日)  
宮崎県教職員太鼓研修会(宮崎県児湯郡川南町)
- 6月25日(日)  
岩手県教職員太鼓研修会(岩手県奥州市)
- 8月20日(日)  
三重県教職員太鼓研修会(三重県多気郡明和町)
- ### 一般事業24事業(海外含む)
- 5月28日(日)  
第10回ポートピア河辺「河辺春の収穫祭」太鼓祭  
(秋田県秋田市)
- 6月～12月下旬  
中日本太鼓連合講習会(岐阜県郡上市他)
- 7月8・9日(土日)  
全九州和太鼓サマースクール(大分県由布市)
- 7月15日(土)  
しが和太鼓キャラバンコンサートin大津  
(滋賀県大津市)
- 7月22・23日(土日)  
西都夏まつり太鼓フェスティバル(宮崎県西都市)
- 7月23日(日)  
第17回ブラジル太鼓ジュニアコンクール&フェス  
ティバル(ブラジルサンパウロ州)
- 7月23日(日)・30日(日)  
令和5年度岡山県支部ワークショップ(岡山県倉敷市)
- 8月20日(日)  
第3回日本太鼓岡山県支部太鼓祭り(岡山県倉敷市)
- 9月3日(日)  
第31回東北太鼓フェスティバル(秋田県横手市)

- 9月24日(日)  
愛知県「太鼓のつどい」in大府(愛知県大府市)
- 9月24日(日)  
第4回ひがし北海道太鼓まつり(北海道釧路市)
- 9月24日(日)  
奇跡の一本松復興太鼓祭り(岩手県陸前高田市)
- 10月予定  
第11回全九州ジュニア和太鼓団体海外派遣交流事業  
(台湾苗栗県・熊本県熊本市)
- 10月22日(日)  
みやぎ太鼓フェスティバルin 利府  
(宮城県宮城郡利府町)
- 10月22日(日)  
第16回全台湾太鼓フェスティバル、  
第14回全台湾太鼓ジュニアコンクール(台湾苗栗県)
- 10月29日(日)  
第2回太鼓の和(和歌山県有田市)
- 11月12日(日)  
福井太鼓の響2023(福井県越前市)
- 11月12日(日)  
第12回東北太鼓ジュニアコンクール  
(山形県東田川郡庄内町)
- 11月12日(日)  
星野村まつり和太鼓コンサート(福岡県八女市)
- 11月26日(日)  
第6回北海道太鼓ジュニアコンクール  
(北海道旭川市)
- 12月3日(日)  
群馬県太鼓連合結成20周年記念演奏会  
(群馬県藤岡市)
- 12月17日(日)  
第18回全九州・日本太鼓ジュニアコンクール  
(熊本県熊本市)
- 2024年2月4日(日)  
第14回関八州太鼓まつり(埼玉県本庄市)
- 2024年3月3日(日)  
東日本大震災令和6年3・11追悼演奏(宮城県名取市)

## 訃報

一般会員「全日本幼児教育連盟」(埼玉)の畠山國彦会長が昨年10月27日にご逝去されました(享年96歳)。畠山氏は永年に渡り幼児教育に力を注がれ、幼児用の日本太鼓を開発するなど日本太鼓の普及、発展に貢献されました。ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

日本太鼓の普及、発展のために永年ご尽力いただきました「播州新宮越部太鼓」(兵庫)の桂正静氏が2月8日にご逝去されました(享年68歳)。桂氏は兵庫県支部支部長として財団の活動にご協力いただきました。ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

日本太鼓の普及、発展のために永年ご尽力いただきました「江川太鼓同好会」(島根)の樋口忠三氏が3月19日にご逝去されました(享年77歳)。樋口氏は島根県支部支部長として財団の活動にご協力いただきました。ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

## 事務局だより

### 日本太鼓ジャンボリー 2023

期 日:2023年5月27日(土) 開場17:30 開演18:00  
会 場:文京シビックホール大ホール 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21  
主 催:公益財団法人日本太鼓財団  
主 管:関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部  
協 賛:日本財団

出演団体: 1. 日本太鼓財団東京都支部合同チーム(東京)  
(出演順) 2. 越中いさみ太鼓保存会(富山) 8. 山内 強嗣(静岡)  
3. 紀州 和歌山太鼓(和歌山) \*第19回日本太鼓シニアコンクール名人位  
4. 江州 荒川組(滋賀) 9. 橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎)  
5. 恵那のまつり太鼓(岐阜) \*第25回日本太鼓ジュニアコンクール優勝  
6. 愛宕陣太鼓連響風組(福島) 10. 善通寺龍神太鼓(香川)  
7. 八丈太鼓六人会(東京) 11. 九州 音鼓組(長崎)

入 場 料:前売券2,500円 当日券3,000円  
詳しくは当財団公式サイトをご覧ください。

\*チケットぴあにて  
前売券販売中!  
Pコード:241225



### 第94回日本太鼓支部講習会(北海道道南)

期 日:2023年6月17日・18日(土日)  
会 場:宿泊研修施設 サンパワー 380(室蘭岳山麓総合公園)  
〒050-0053 北海道室蘭市神代町143番地3 Tel. 0143-44-6055  
主 催:日本太鼓財団北海道道南支部

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)  
\*詳細は決まり次第当財団公式サイトに  
掲載いたします。

<お問合せ・申込先>

日本太鼓財団北海道道南支部 事務局 榎引 秀明  
〒050-0074 北海道室蘭市中島町2-28-6 アパホテル室蘭内  
Tel. 0143-43-2333

### 第70回日本太鼓全国講習会(福島)

期 日:2023年8月26日・27日(土日)  
会 場:須賀川市文化センター  
〒962-0054 福島県須賀川市牛袋町11番地 Tel. 0248-76-7777

\*要項及び申込書は次号の会報に同封いたします。

<お問合せ・申込先>

公益財団法人 日本太鼓財団 事務局  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階 Tel. 03-6205-4377

### 第26回代議員会

期 日:2023年7月14日(金)  
会 場:AP品川(JR品川駅 港南口より徒歩6分)  
〒108-0075 東京都港区港南1-6-31 品川東急ビル8F

参加資格:各支部代議員及び事務局、賛助会員、一般会員、個人会員

\*新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、会議の中止・内容を変更する可能性がありますので  
予めご了承ください。

\*例年の開催場所と異なりますので、ご注意ください。

\*詳細は決まり次第、ご案内いたします。

### 京都府支部 閉鎖のお知らせ

京都府支部から3月31日をもって解散する旨の届があり、これを受領し同日付で支部を閉鎖いたしました。



公益財団法人 日本太鼓財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

URL: <https://www.nippon-taiko.or.jp> Email: [info@nippon-taiko.or.jp](mailto:info@nippon-taiko.or.jp)

